



創立十五周年を祝して

さいたま市長 清水 勇人

このたび、さいたま市PTA協議会が創立十五周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

また、会員の皆様方におかれましては、日頃から、家庭・学校・地域を結ぶ重要な役割を担っていただいておりますとともに、子どもたちの健全育成のため、様々な活動に献身的に取り組まれていることに、深く敬意を表するとともに、心から感謝を申し上げます。

さて、さいたま市も誕生から十五年の節目の年を迎え、東日本を代表する大都市となつてまいりました。

これまでの本市の取組を振り返りますと、教育においては積極的な取組の積み重ねがあり、他の都市に負けない強みとなっております。市長就任以来、その強みを更に磨き伸ばせるよう教育にとりわけ力を入れて取り組んでまいりました。

さいたま市PTA協議会の皆様におかれましては、創立以来、充実した活動を積み重ねておられるとともに、各区の特色を活かした活動を精力的に展開しておられます。皆様のこの活動が、さいたま市の教育の発展に多大な御貢献をいただいておりますことに対し、改めて感謝申し上げます。

子どもや家庭を取り巻く環境の大きな変化に対し、社会全体で子どもたちを育ていくことが、今後ますます重要となつてまいります。さいたま市といたしましても、「子育て楽しいさいたま市」の実現を目指した施策を推進してまいりますので、さいたま市PTA協議会の皆様におかれましては、引き続き変わることのない御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、さいたま市PTA協議会の長年にわたる御功績に敬意を表するとともに、貴会のみまますの御発展と、会員の皆様方の御健勝を心より祈念いたしました。お祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞

さいたま市議会議長 桶本 大輔

さいたま市PTA協議会が創立十五周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

さいたま市PTA協議会の皆様には、家庭、学校及び地域における最善の教育を目指し、PTA活動の発展と児童・生徒の福祉を増進させることを目的とし、教育はもとより、市政各般にわたり多大なる御支援、御協力を賜り、心より御礼を申し上げます。

今や、子どもたちをとりまく環境は、情報の高度化、多量化、国際競争の激化、少子化等により、めまぐるしく変化しております。また、地域のつながりの希薄化により地域社会での教育力の低下が指摘されている今日、学校と家庭、地域社会を結ぶ懸け橋として、PTA活動への期待はますます大きなものとなっております。皆様がその役割を果たすため、仕事や育児、介護等、多忙な時間を割いて活動いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

本市は、「一人ひとりが生き生きと輝く個性を育む」を教育総合ビジョンの基本構想とし、豊かな人間性と健全な社会性を身につけた次世代を担う子どもたちの育成を目指し邁進しております。その実現のためには、皆様のお力が必要でございます。

市議会といたしましても、市の宝である子どもたちが健やかに成長できる環境整備に向け、地域の皆様とともに取り組んでまいりますので、今後とも、御支援、御協力のほどよろしくお願い致します。

結びに、さいたま市PTA協議会のますますの御発展を祈念し、十五周年に寄せる言葉といたします。



創立十五周年を祝して

さいたま市教育委員会 教育長 稲葉 康久

さいたま市PTA協議会が創立十五周年の記念すべき年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、日頃から、子どもたちの教育環境充実のために、本市の教育施策に御理解、御協力をいただいておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。また、貴会の発展に御貢献されました多くの方々の御尽力と御功績に心より敬意を表します。

さて、教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われるものであり、こうした教育の使命は、今後いかに時代が変わろうとも普遍的なものです。

今日、社会は急激な少子高齢化に伴う活力の低下や、グローバル化の進展に伴う国際競争の激化など、急速に変化しています。そして、これらが相互に影響し合うことにより、将来の変化を予測することがますます困難になっています。将来を担う子どもたちには、こうした変化や予想外の事態を乗り越え、主体的に未来を切り拓いていく力をはぐくむ教育が今、求められています。

教育委員会におきましては、これまでも、「日本一の教育都市」を目指して、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた子どもを育成する教育を推進してまいりました。今後も、様々な課題に対応するとともに、次世代を担う子どもたちの健全育成に全力で取り組んでまいりますので、さいたま市PTA協議会の皆様におかれましては、子どもたちの健全育成に向けて、引き続き変わることのない御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、さいたま市PTA協議会のますますの御発展と、会員の皆様方の御健勝を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞

さいたま市立小学校校長会会長 西川 和利

さいたま市PTA協議会が、創立十五周年を迎えられますことに、さいたま市立小学校校長会を代表しまして心よりお祝いを申し上げます。また、さいたま市における学校の教育活動及びPTA活動、地域における様々な活動の充実・発展のためにご尽力を賜りました歴代会長をはじめとする役員の皆様、そして多くの会員の皆様に心から敬意を表する次第です。

私は、管理職として旧市全てでお世話になりました。この間、PTA会長をはじめ役員の皆様、区連合会の皆様のご尽力により充実したPTA活動に携わらせていただきました。また、学校経営を進める上での課題についても、子どもたちのために知恵を絞り、汗を流し、連携をとりながら改善を進めることができました。さらに、周年記念事業に際しましても、PTAの皆様を中心となつて活動していただいたおかげで、節目を飾るに相応しい実りある成果を上げることができました。この他、学校行事をはじめ多くの教育活動でも多大なるご理解ご協力をいただきました。こうした皆様のご支援は、さいたま市立小学校の校長全てが同様に心強く受け止めております。改めて心より感謝を申し上げます。

さて、急速な社会の変化により先を見通すことが難しい時代に生きる子どもたちには、新たな未来を切り拓く力が求められております。一方で、時代が変わろうとも大切にしていかなければならないことがあります。それは、かけがえのない自他の命を大切に育てることであり、安全・安心な地域に根ざした信頼される学校経営を進めていくことであります。さいたま市立小学校校長会は、皆様との連携をより一層深め、子どもたちの笑顔が輝く学校づくりに取り組んでまいります。

結びに、さいたま市PTA協議会の益々のご発展をご祈念申し上げます、祝辞とさせていただきます。



保護者・地域とともに歩む

学校づくりの推進に向けて

さいたま市立中学校校長会会長 野口 浩

さいたま市PTA協議会が創立十五周年の節目の年を迎えられたことを、心からお慶び申し上げます。

さいたま市PTA協議会におかれましては、学校と家庭・地域の架け橋となる事業を精力的に展開されておりますことに厚くお礼申し上げます。また、会員の皆様方には、子ども達の笑顔あふれる環境づくり・地域づくり・未来づくりのために、ご尽力いただいておりますことに衷心より感謝申し上げます。

さて、教育は、文字通り「教え育むこと」であり、人として望ましい状態にさせるために、心と体の両面に意図的に働きかけ、変容させていく営みです。子ども達は、成長の過程で様々な人に学びながら人格を形成していきます。そのため、学校教育では、教職員による指導と支援、子ども達同士の関わりの中で、個人の価値が尊重され、一人ひとりの子ども達の能力や可能性を最大限に伸ばすことが求められています。また、惜しみなく愛情が注がれる環境に包まれた家庭の教育が欠かせません。さらに、やがて地域の力となる子ども達が地域の中で伸び伸びと育つ教育も必要です。

さいたま市中学校長会は、教育の質の向上を目指す学校経営の確立を目指し、確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育の充実、教職員の資質・能力と指導力の向上などを基本方針として活動しております。今後とも、教育改革の動向を見極め、将来に確かな展望をもち、会員相互並びに関係各機関との密接な連携を図り、英知を結集して「社会を生き抜く力と希望をほぐくむ教育」を実践し、『日本一の教育都市さいたま市』にふさわしい中学校教育の実現に迫ってまいります。さいたま市PTA協議会の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、さいたま市PTA協議会の活動が一層充実し、発展されますことを祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



「少年自然の家」への思い

さいたま市PTA協議会初代会長 橋本 正晴

さいたま市PTA協議会が、創立十五周年を迎えましたことを心からお祝い申し上げます。そして、今日まで市P協の発展にご尽力いただきました歴代役員・事務局の皆様、会員ならびに関係各位のご理解ご協力で感謝を申し上げます。

市P協は、平成十三年五月一日のさいたま市誕生と同時に合併して設立されました。一つの協議会として、新市と共に生涯学習と学校教育の充実を目指すことが目的でした。合併後、旧市の方針によってさまざまな分野に違いがあることが判ってまいりました。その中でも特に少年自然の教室の実施状況が大きく違っていました。館岩・赤城・六日町と、開催地は素より実施日数・体験内容・交通手段など全てに渡っていました。私は、平成十三年十月に始まった「少年自然の家運営審議会」の委員として協議に参加しました。そして、市P協合併当初の事業計画には無かった「少年自然の家視察研修会」を同じく十月末に開催しました。市P協の役員を中心に赤城・館岩の宿泊視察を行い、参加した全員が館岩少年自然の家の施設やカリキュラムの素晴らしさを実感しました。それを受け、市に対して速やかに館岩施設の増築を実施し、市内全域の子どもたちがより等しい環境で自然の教室体験が行えるよう要望しました。しかしながら諸事情により、旧施設や市民保養施設・民間施設を利用しての教室が開催され具体的な改善が進みませんでした。そして漸く今年に入り、館岩施設の増築工事が着手され、平成三十一年度から全市域の学校での使用が可能になると伺い安堵したところです。

結びに、さいたま市と市P協が更に発展する事をお祈り申し上げ祝辞いたします。



創立十五周年を祝して

さいたま市PTA協議会二代会長 向江 正晃

さいたま市PTA協議会が創立十五周年を迎えられたことを心よりお喜び申し上げますとともに、日ごろから子ども達の健全育成に多大なるご尽力をいただき、心より感謝申し上げます。

私は二代目会長として平成十六年より三年間、皆様とともに活動させていただきました。

私の目標は、組織としての市P協ではなく、子ども達のために何をすべきか自ら考え行動する人材の集まりとしての市P協を構築することでした。そして、その目標は一步一步着実に実現していきました。一番に思いだされるのは「子ども達を取り巻く環境を改善したい」「犯罪から子ども達を守りたい」という私たちの声を、さいたま市と教育委員会へ届けようと行動を起こしたことです。各連合会の要望を把握し区で取りまとめ、そしてその結果を市で集約し、最終的に要望書としてさいたま市と教育委員会へ提出しました。そして、それを機に市内全小学校に警備員の配置が決定したのです。私たちがらが情報や要望を発信した結果、子ども達の安全を守る環境づくりができ、会員の皆様と共に喜び合いました。この活動を通して実感したことは、「さいたま市」「教育委員会」「さいたま市PTA協議会」と組織こそ異なりますが、「子ども達のため」という一点では、誰もが同じ思いであるということです。次の世代を担う子ども達のためには、同じ目的を共有する私たちの協働が必要で。そして、家庭・学校・地域を結ぶ要として「さいたま市PTA協議会」は大きな役割を担っています。これからも子ども達のために、一層のご尽力をいただけるものとご期待申し上げますとともに、さいたま市PTA協議会のご発展と皆様方のご健康ご多幸を心より申し上げます、お祝いの言葉いたします。



創立十五周年を迎えて

さいたま市PTA協議会 三代会長 天野 雅裕

さいたま市PTA協議会が創立十五周年を迎えますこと、心よりお慶び申し上げます。

振り返ると旧三市PTA協議会の合併や岩槻市の編入、政令指定都市になり埼玉県PTA連合会からの独立等々、さいたま市PTA協議会が今日を迎えられるのも、多忙な日々尽力された先輩方のおかげと、共に活動させて頂いた者として感じております。また、任期中は指定都市PTA連絡協議会研究会さいたま市大会の開催や、保険業法の改正によりPTA活動総合補償制度の立ち上げなど大きな事業が続きましたが、無事やり遂げられたのも、さいたま市PTA協議会に関わる多くの方々のご協力によるものと感謝の念に堪えません。

さて、初めてPTA会長を拝命した年に、さいたま市PTA協議会の設立総会が行われ、私がさいたま市PTA協議会会長を拝命した年から約十年経ち、時の流れの早さを感じます。当時は携帯電話が子ども達にも普及し始め、ネットやメールが子ども達に与える影響が問題になっていましたが、今はスマートフォンの普及と共にLINEなど新しい問題が起きています。時代と共に問題も様々変わりますが、子育ての基本は変わらないと思います。

さいたま市では基本的に保護者と先生方が各校PTAに所属し、同様に各校PTAがさいたま市PTA協議会に所属しています。今後もそれぞれが切磋琢磨し、親と子の成長をサポートする各校PTA、そして各校PTAをサポートする各区連合会・さいたま市PTA協議会、それぞれが足並みを揃え協力し合い、子ども達の未来のために益々発展されますことを祈念しております。



創立十五周年を祝して

さいたま市PTA協議会 四代会長 渡辺 紀子

さいたま市PTA協議会が、創立十五周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。また、今日まで日々協議会の活動にご尽力いただいております役員、事務局の皆さま、そして子どもたちの健全育成のために活動し、ご協力いただいている会員の皆さまに敬意を表します。

私が会長として務めさせていただいた平成二十、二十一年度の二年間は、さいたま市PTA協議会が設立して以降、橋本会長、向江会長、天野会長と受け継がれてきた協議会としての活動を継承しつつ、役員、理事の皆さんと活動の幅を広げていきました。

平成二十年度は、約二年の準備期間を経て、さいたま市PTA協議会のPTA活動補償制度を開始しました。また、平成十七年度からの「子どもたちと同じ活動体験をする」館岩少年自然の家の視察研修に、新たな取り組みとして「環境整備活動」を加え、登山道の木段作りや側溝清掃・花壇の除草作業など自然の家の職員の皆さんと共に力を合わせて汗を流し、子どもたちが安全に楽しい活動体験ができる裏での、これまで見えなかった職員の皆さんのご苦労や配慮を改めて知る有意義な研修となりました。

平成二十一年度は、「家庭教育の向上について学ぶとともに、各区連の活動の情報交換と活動の活性化を図る」を目的に、第二回市PTA研究大会を開催しました。市PTA協設立十周年を次年度に控え、市PTA協としてさらなる成長のために広い視野の中で継続的に、各単位PTAに問題提起や情報発信を続け、共に学び、共有する場を持つことが必要ではないかとの思いを強く感じました。

十五年といえば「義務教育」卒業の年です。さいたま市PTA協議会として、この十五年で培った土台を基にして、子どもたちの輝く未来のために新たな第一歩を踏み出し、更なる活動の充実と健全なる発展をお祈り申し上げます。



祝 辞

さいたま市PTA協議会 五代会長 磯田 和男

さいたま市PTA協議会が創立十五周年を迎えられることを心からお祝いを申し上げます。政令都市さいたま市の誕生に伴い三市PTAが合併し、さいたま市PTA協議会となり、その後、岩槻市PTAが加わり現在に至っております。初代橋本会長、役員の方々の多大なるご尽力により、三市PTA合併、県PTAからの独立、日本PTA単独加入、現大宮区役所内事務局設置等、進めていただきました。歴代会長、役員、会員の皆さんが、さいたま市の子どもに何ができるかの思いを引き継ぎ育てて今があります。

二〇一〇年より五代目会長を務めさせていただきました。山田副会長、鶴沢副会長、高島副会長、加藤副会長、船木副会長、区連会長の皆さん、理事の皆さん、会員の皆さん、事務局の方々に支えられての三年間でした。

さいたま市PTA会員の皆さんの意見が反映され、開かれた市P協運営を目指し、区連会長さんに常任理事をお願いし、月一回の常任理事会にて協議し、総意で意思決定に努めてまいりました。

二〇一一年三月十一日、東日本大震災がおこりました。日本PTA副会長を務めさせていただいた時期と重なり、さいたま市はもとより、震災で親を亡くした遺児孤児の皆さんへの就学支援のため、募金活動で全国に協力をお願いして回りました。全国からご協力いただきました募金は、遺児孤児の皆さんへお渡しすることができました。

今は、地域からさいたま市の子どもを見守り、PTAの応援団として現役PTA会長、役員の方々にエールを送っております。

結びに、設立十五周年を重ねてお祝い申し上げますとともに、さいたま市PTA協議会の益々のご発展と会員の方々の皆様のご健勝を祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。



創立十五周年を祝して

さいたま市PTA協議会 六代会長 鶴沢 勇

さいたま市PTA協議会が、創立十五周年を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。また、日々PTA協議会活動にご尽力いただいております理事役員の方々の皆様、そしてご協力いただいた会員の皆様に敬意を申し上げます。私は、六代目会長を平成二十五、二十六、二十七年、三年間務めさせていただきました。この三年間は、歴代会長をはじめとする理事役員の方々の歴史、功績を会員皆様と改めて検証し、考える時代でした。特に平成二十六年度にさいたま市として初めての主管関東ブロック大会という事で理事役員の方々の皆様、各単会の方々と共に大会をつくりあげたことを今でも思い出します。さいたま市PTA協議会は設立から十三年、初めて主管する大きな大会ということで討議を重ね、子どもたちを取り巻く環境が厳しい状況の中、「ささえ合い いのち尊び たくましく まごころつなぐ 子どもたちに 五つのことだま く子は親の鏡、生き抜く力を子どもたちに」をキーワードに「絆」「命」「体」「心」「未来」、子どもたちの健やかな成長を応援し、その課題について考えるPTAの役割、そして未来を生きる子どもたちの「生きる力を育む」ため、家庭・学校・地域が手を携え、心をつなぎ、地域全体の「絆」のもと、「子育て日本一のまちづくり」「日本一の教育都市」をつくるため、関東ブロック会員のみなさまに活発で前向きな熱い研究討議して頂き、成功のもと終了することができました。これからも、さいたま市の子どもたちの未来の為、より一層のご尽力いただけるようお願い申し上げます。結びにさいたま市PTA協議会の益々のご発展と会員皆様のご健勝を祈念致します、お祝いの言葉とさせていただきます。